

日高くるくるねつと  
くるくるニュースレター

Vol. 20 2018 年初冬号



## くるくる農業隊

### 『お米の脱穀に参加して』

2年前は、小麦の脱穀に幼稚園児だった息子と参加しました。  
そして今回は、お米の脱穀に参加。息子も小学生になり、2年前よりも自分でできることが増え、本人も楽しんでいました。

昔ながらの脱穀機で大人たちの協力の元、できることをお手伝いする。

普段当たり前の様に食べているお米が、田植えから始まり、稲刈り、そして脱穀、もみすりや選別などを行い、それから給食や食卓に出されている事を知る。

一緒に作業をした皆さんが、脱穀のやり方、脱穀の際にいた虫さんのお話、脱穀した後はどうするのか、お米を食べる会もあるよ～ などなど、息子に色々な事を教えて下さいました。

これこそまさに【食育】だと思います。

改めて私も息子もこの経験を通して、更に感謝の気持ちを持って毎日の食事を大切にしていきたいと思っています。(MT)



### 『7月に蒔いた大豆、その後の成長』

今年の夏は、普段エアコンを使わない人でも思わずスイッチを入れてしまうくらいの暑い日が続きました。その上盛夏の頃には、地面がカラカラに乾く日があるはずなのに、雨がよく降り、しっかりと水分を含んでいました。

その為なのかどうかは分かりませんが、例年なら低い大豆の背丈が大きく伸び、実の方もさぞや！ と期待が大きくふくらみました。

9月末～10月初頭には、どの株もぷつぷつと膨らんだ枝豆がぎっしりとついているはずなのですが、ふくらみが今ひとつで、何とか10月6日のあいあい祭りで販売出来たという状態でした。

11月の収穫までにラストスパートしてくれることを期待しています。(YM)

## 田んぼ

子どもの頃、食べられないものが4つあった。うなぎと、青魚と、とろろ（山芋のすりおろし）と、インスタントラーメン。

インスタントラーメンは「ヤクルトラーメン」で嫌いになり、程なくして発売された生麺感覚のノンフライ麺「めん吉」によって克服出来た。

しかし、あとの3つは結構な年齢になるまで嫌いなままで、よく父親に「腹がへれば何でもウマイ！」と怒られた。昭和11年生まれで、皆が平均して貧しかった時代の人には正論であるが、飽食時代の私にはワケワカラン。

そんな父親は「ウマイ！」の間口がダダッ広くて、およそ口に入るものは何でも「ウマイ！」のだ。彼の作る味噌汁にはピーマンやセロリが平気で投入される。それを「ウマイ！」と言って食べる。私も多少味音痴だが、父親は超ド級だ。

うなぎと青魚の嫌いな理由は、味だったり食感だったり匂いだったり、食べた結果として嫌いになったのだが、とろろは違う。食卓脇の畳の上にあった大きなすり鉢の中のとろろに、少年Tは足を突っ込んでコケたのだ。足にまとわり付いたとろろが気持ち悪くて、大泣きした。この体験が「とろろ＝不味い」になってしまったらしい。今はお蔭様でだいたい美味しくいただける。ただ、鰯だけは今も苦手だ。

前々回のニュースレターで今年からつくる品種の選定について書いた。食味のランクが「上」だから「まいう〜」だとも書いた。

そして半年たって、先ごろ収穫に到った。皆さんのおちからに感謝する次第。お陰でうるち米（みずほの輝き）38キロ。もち米（若草もち）40キロの収量だった。そして、年末恒例12月23日の餅つきの日に食べてもらおうということ。

そこで私はハタと気付く。『食味ランクはいつたいぜんたい誰がどう決めた？』

それはきっと、米の中の〇〇成分が何mg/kgとか、炊き上がりの水分量が云々とか、理系的な数字で決めるのだろうが、それと個人個人が食べてみた感じ方は違うはず。美味しい不味いはあくまで主観だから、普遍的な価値基準なんてまるでない。そう、私の父親が食べれば「下下」ランクの米だって「ウマイ！」に決まっているし、炊き立てのお釜に片足突っ込んだ少年は金輪際釜のメシは食わんだろうし。

そうなんだ。食味ランクで比較なんて出来ない。そんなこと無意味だったのだ。

もしタレントの石ちゃんに来て「まいう〜」と言ってくれば全てピッタリだ。誰が何と言おうと「まいう〜」なお米になる。でも石ちゃんは来ない。

ひとつお願いがある。12月23日餅つきの日にもち米なりうるち米なりを食べたら、各々の食味ランクをつけて欲しい。「上中下」でも「ABC」でも「甲乙丙」でも何でも構わない。そして、それは自らの中に秘めて、決して口外しないでおいで欲しい。特に私には言わないで欲しい。更に言えば、私のランク付けを聞いてはならない。絶対『普通』つて言う。

(T)

## くるくる果樹園隊



3月に挿し木したイチジクと、ひこばえをとり木したヘーゼルナッツを10月に定植しました。

## くるくる間伐隊



今年から薪ストーブを設置する予定だったので、

昨年から間伐作業に参加し始めました。

間伐に入る山は、杉・桧がうつそうと茂っているところがほとんどです。

木を切り倒し、運べる長さに切り分けて、それを肩に担いで山道を下っていきます。

作業は結構ハードですが、山の空気を吸いながら、汗をびっしょりかくのも気持ちが良いです。

また、暗かった山に陽の光が入るようになり、達成感で心も体も満たされます。

そして自分たちで切ってきた木で、薪割をして薪ストーブで温まる。

今年の冬は、楽しみが一つ増えました。

地域の山々に、沢山の人の手が入り、沢山の陽の光が届くと良いですね。(M)

## 畑の学校

農業に興味があり私が申し込みましたが、主人の方がすっかりハマり、夫婦で週末畑の学校を楽しんでいます。

自分たちがまいた種が育つ中で、太陽と土の関係を不思議に思ったり、時には虫に喰われて全滅したり、自然の中に生きている自分を感じる時間でもありました。

猛暑の中、畑でもいで食べたトマトの美味しさは感動でした。様々なジャンルの方たちとの交流も楽しく、参加して本当に良かったです。(MT)



3月から11月まで20回にわたる畑の学校も、残すところ後2回となってしまいました。

思い返すとまだ肌寒さが残る頃、新緑、あの暑さと草で覆われた畑、真っ青な青空等々季節の移り変わりを実感しながらの楽しく、また充実した日高通いでした。

畑の学校では、近況報告の時間があり、皆さんの畑の様子や生活スタイルへのこだわりなどを伺うことができたことも収穫となりました。

畝立て、種の播き方、間引、収穫の適時、支柱の立て方、マルチ、ネット張りなどの実習はとても役に立っています。塾長さんからの資料の説明、質問への応答はこれからも私の大切なマニュアルとなることでしょう。

何と言っても最大のイベントは収穫の時です。土の中から掘り出されてくるじゃがいも、里芋、生姜、さつまいも。どのグループからも笑顔と童心にかえつての歓声が上がりました。

様々な環境に耐え抜いて、食卓まで辿り着いてくれた「お野菜さん」にはとても愛おしさを感じます。これからも畑の学校で学んだことを生かし安全で美味しい自慢出来るものを育てていけたらと思っています。(NA)

自分達が住む地域で少しでも食べるものを自給できたらなという、大きな夢があります。東北の震災後いろいろな果樹を植えました。6年経ちます。木の成長はゆっくりで、収穫は次の世代になるものもありそうです。



果樹園におりました



クコ



禅師丸柿



サルナシ

◎くるくるカレンダー 今後の予定◎

2018年11月				
3日(土祝)	9時半~11時半	【畑の学校】	畑の学校	栗坪畑
4日(日)	10時~12時	【間伐隊】	間伐・山の整備作業	くるくる事務局集合
5日(月)	9時~12時	【農業隊】	蕎麦の収穫	栗坪畑
7日(水)	9時~12時	【東北応援隊】	武蔵台くるくる市場に出店	武蔵台ショッピングセンター
12日(月)	9時~12時	【農業隊】	蕎麦の脱穀	栗坪畑
17日(土)	9時半~11時半	【畑の学校】	畑の学校	栗坪畑
17日(土)	9時~15時	【農業隊】	大豆の収穫	高岡畑
18日(日)	9時~15時	【農業隊】	大豆の脱穀	高岡畑
23日(金祝)	9時~12時	【農業隊】	小麦の種まき	高岡畑
25日(日)	10時~12時	【東北応援隊】	清流青空マーケットに出店	森の果樹園
2018年12月				
2日(日)	10時~12時	【間伐隊】	間伐・山の整備作業	くるくる事務局集合
5日(水)	9時~12時	【東北応援隊】	武蔵台くるくる市場に出店	武蔵台ショッピングセンター
9日(日)	9時~12時	【農業隊】	大豆選別作業	森の果樹園
16日(日)	9時~12時	【農業隊】	麦踏み・大豆選別作業	高岡畑
23日(日祝)	9時~15時	【全体】	お餅つき	森の果樹園
2019年1月				
13日(日)	10時~12時	【間伐隊】	間伐・山の整備作業	くるくる事務局集合
14日(月祝)	10時~12時	【全体】	2019年活動話し合い	森の果樹園
19日(土)	9時~12時	【農業隊】	落ち葉掃き	くるくる事務局集合
20日(日)	9時~12時	【農業隊】	麦踏み・大豆選別作業	高岡畑
27日(日)	9時~14時	【全体】	お味噌作り	森の果樹園

武蔵台ショッピングセンターで毎月第1水曜日の午前中に開かれる「くるくる市場」。東北応援隊は、毎回出店しています。

武蔵台活性化のため、「くるくる市場」がスタートしたのは2017年の2月。最初は出店者もお客さんも少なくて寒くて泣きそうでしたが、最近は総菜、野菜、パン、和菓子、生花などお店の数も増え、出店前から行列ができるお店も。そんな中、東北応援隊の海藻類は「味と品質が良い」とリピーターが多く、コンスタントに売れています。常連さんや他のお店の人との会話も楽しいので、買い物だけでなく一度覗いてみてください。(i)



日高くるくるねっと

日高くるくるねっとは、2011年の震災・原発事故を受けて、「何かしたい」と思った日高市内外の有志が集まって誕生したグループです。自分たち自身の暮らしを見つめ直し、足元にある豊かな自然資源(太陽・水・田畑・山林など)を活用・循環させながら、人と人とが手を携え、自立した豊かな暮らしをみんなの力で築いていくことを目指しています。

◎日高くるくるねっと メンバー募集中!◎

本ニュースレターをお読みになり、参加してみたい活動がありましたら、お気軽に以下までお問い合わせください♪

日高くるくるねっと事務局

日高市清流 117 TEL:042-982-5023 E-mail:kurukuru\_hidaka@yahoo.co.jp  
ホームページ:http://kurukuru-net.jimdo.com/

